

山梨県学力把握調査 結果の概要

山梨県教育庁義務教育課



H29

各学校における授業改善に向けての取組

- 管理職研修会 6月6日(校長等) 13日(副校長・教頭)
 - ・ 各学校の管理職は、結果を受け、学校で組織的な対応が図られるよう指導する。
- 結果概要説明会 6月20日(小学校) 22日(中学校)
 - ・ 本県児童生徒の学力調査における結果と課題を共有する。説明会の内容を受け、自校の調査結果と比較しながら課題を分析し、早期の授業改善につなげていく。
 - ・ 説明会での内容を校内研究会等で還元し、結果や課題について全校で共有する。
- 自校の結果の分析(6月～)
 - (1) 採点結果データの活用例
 - ① 平均正答率、中央値、標準偏差等を県データと比較する。
 - ② 正答分布グラフで散らばりをみる。
 - ③ 領域別、観点別、問題形式別の傾向をみる。
 - ④ 設問別の正答率、無解答率を調べる。
 - ⑤ 解答類型の散らばりをみて、誤答の類型に目を向ける。
 - (2) 調査資料の活用
 - ・ 課題のあった設問の「出題のねらい」や「ワンポイントアドバイス」を見て問題の傾向を確認する。
- 授業改善への具体的な取組(6月～)
 - ・ 自校の課題を明確にし、課題改善に向けての方策を立てる。
 - ・ 授業実践では、指導と評価を繰り返し、授業改善や個に応じた指導の充実を図る「授業レベルでのPDCAサイクル」を確立する。
- ピックアップ問題への取組
 - ・ ピックアップ問題は、調査結果において課題の見られた問題を県教委がまとめたものである。(全国学力・学習状況調査の設問も含む。)
 - ・ 各学校は、ピックアップ問題を実施し、授業改善の成果を検証する。児童生徒の解答に改善が見られないものがあれば、さらなる改善策を検討し、実践する。
- 取組を評価する(H30年4月)
 - ・ 次年度の全国学力・学習状況調査、県学力把握調査における自校の調査結果から取組を評価する。

○ 平成29年度山梨県学力把握調査に関わるアンケート(8月)

- ・ 県教委は、調査の実施、調査問題・調査結果の活用状況について、アンケート調査を行う。

○ 指導主事による学校訪問

- ・ 指導主事は、各学校が学力調査の結果を基にしたPDCAサイクルを確立する等の「組織的な対応と取組」をしているかどうか把握し、授業観察や研究会での様子等をふまえ、適切な指導を行う。

○ 平成29年度山梨県学力把握調査 ピックアップ問題実施アンケート(3月)

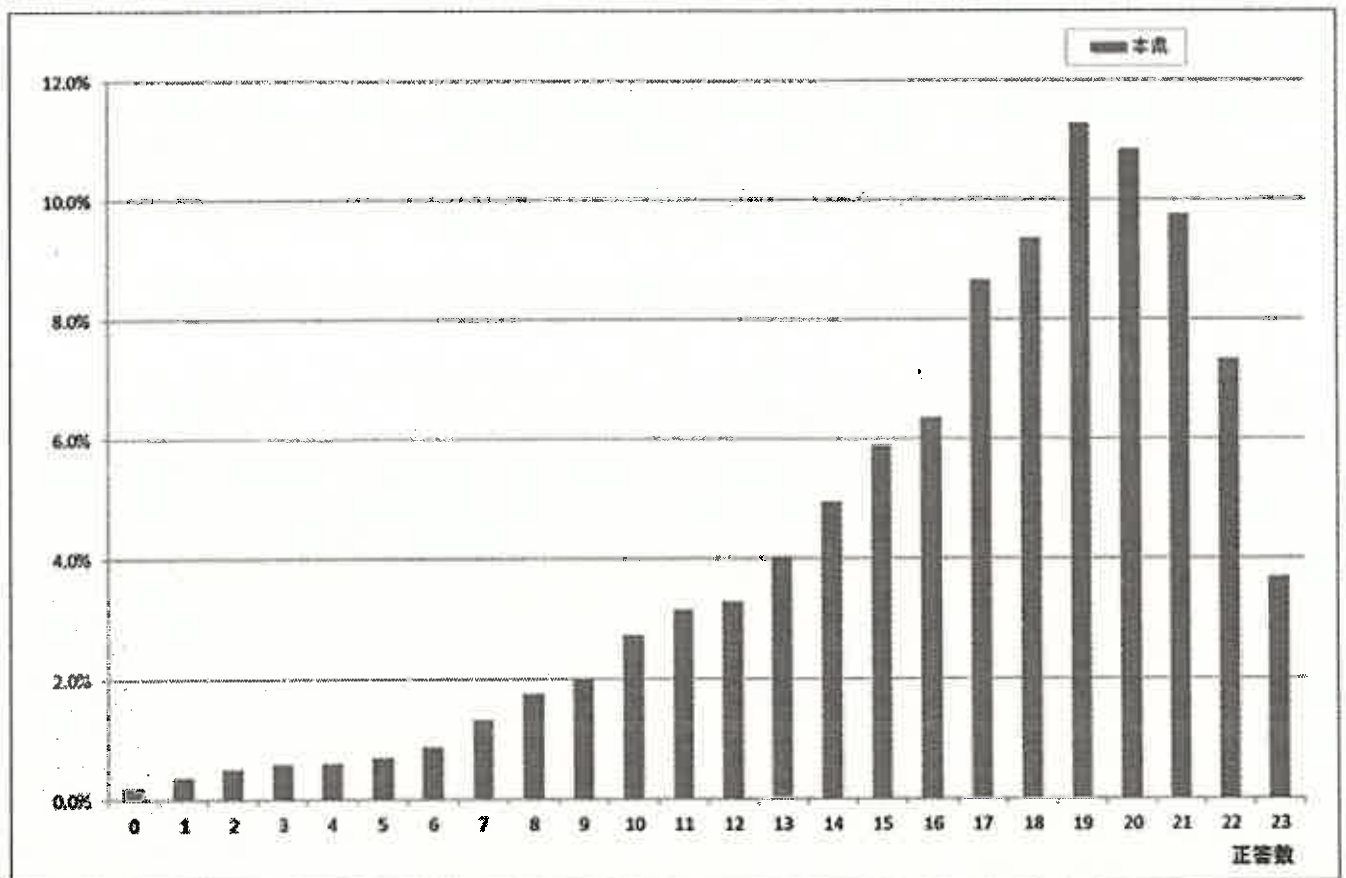
- ・ 県教委は、ピックアップ問題を実施することによって見えてきた課題や、来年度に向けての授業改善の方向性等について、アンケート調査を行う。

調査結果概況

対象児童数	平均正答数／設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6426人	16.6／23	72.4	18	4.64

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	68.7
	書くこと	3	68.1
	読むこと	3	62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	76.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2	82.7
	話す・聞く能力	3	68.7
	書く能力	3	68.1
	読む能力	3	62.6
	言語についての知識・理解・技能	14	76.2
問題形式	選択式	5	66.3
	短答式	15	74.5
	記述式	3	71.8

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	情報源 の属性	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	3一	伝国	言語	短答	漢字を読む (先生の話を聞く。友だちに電話をする。)	93.0	62.6 (H23)	+30.4
2	4二	伝国	言語	短答	「かりんちゃんが いすから おりて、すみれちゃんが すわりました。」の「すわりました」の主語に線を引く	38.8	18.9 (H26)	+19.9
3	7	伝国	言語	短答	動物…「ねこ 鳥」となかまの言葉を書く	90.9	78.6 (H25)	+12.3
4	2一	伝国	言語	短答	漢字を書く (ゆきがふりつづく)	93.9	83.4 (H24)	+10.5
5	6	伝国	言語	短答	「この店ではきものを買う。」の意味が「くつやサンダルを買う」ことになるように読点をつける	51.0	40.6 (H26)	+10.4

下位5題

	設問番号	情報源 の属性	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	10二	書く こと	書く	選択	読む人に分かりやすく伝えるために必要な工夫として適切なものを選ぶ	63.8	77.1 (H26)	-13.3
2	2二	伝国	言語	短答	漢字を書く (ひろばであそぶ)	73.7	83.2 (H24)	-9.5
3	11一	読む こと	読む	短答	主人公が母親に何をもらったか読み取る	85.3	94.6 (H25)	-9.3
4	10一	書く こと	書く	選択	「はじめ」に書いてある内容として適切なものを選ぶ	67.7	76.4 (H26)	-8.7
5	9二	話す こと ・ 聞く	話す 聞く	選択	聞く人に分かりやすく伝えるための工夫を選ぶ	74.9	83.3 (H23)	-8.4

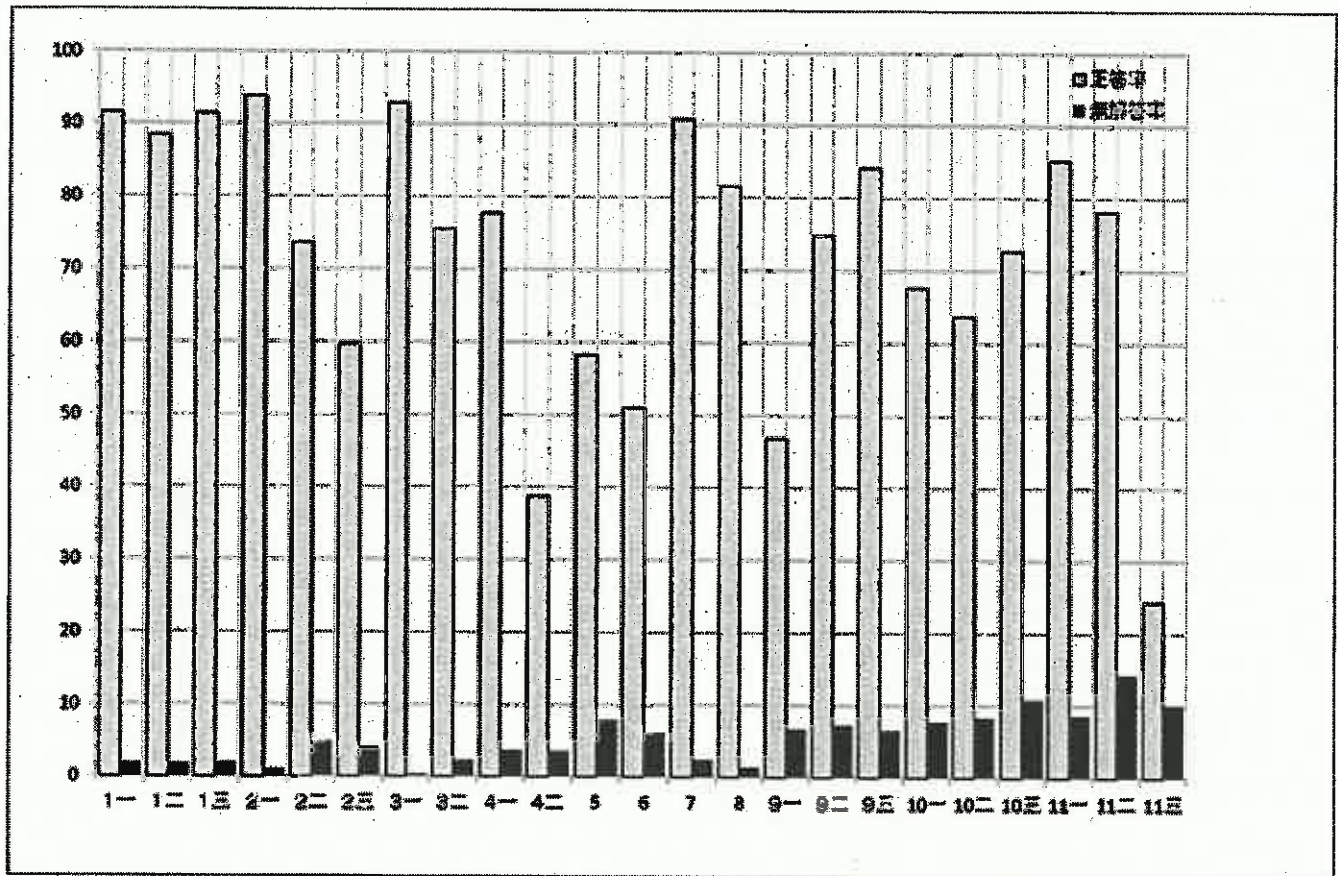
【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の概要	領 域 等	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率 (%)	県正答率 (%)	H29-過去 (ポイント)
1一	漢字を読む(計画を立てる)	伝国	H24	88.5	91.7	3.2
1二	漢字を読む(小麦からパンを作る)	伝国	H25	84.6	88.5	3.9
1三	漢字を読む(兄弟でなかよくする)	伝国	H27	87.5	91.5	4.0
2一	漢字を書く(ゆきがふりつづく)	伝国	H24	83.4	93.9	10.5
2二	漢字を書く(ひろばであそぶ)	伝国	H24	83.2	73.7	-9.5
2三	漢字を書く(えんそくに行く)	伝国	H25	62.0	59.7	-2.3
3一	漢字を読む(先生の話聞く。友だちに電話する。)	伝国	H23	62.6	93.0	30.4
3二	漢字を読む(親子でキャンプに出かける。親切な人に会う。)	伝国	H23	65.9	75.7	9.8
4一	「お手紙をもらって、がまくんは、とても よろこびました。」の「よろこびました」の主語に線を引く	伝国	H24	73.5	77.9	4.4
4二	「かりんちゃんが いすから おりて、すみれちゃんが すわりました。」の「すわりました」の主語に線を引く	伝国	H26	18.9	38.8	19.9
5	「～のように(な)」という言葉を使って、短い文を書く	伝国	H24	62.6	58.3	-4.3
6	「この店ではきものを買う。」の意味が「くつやサンダルを買う」ことになるように読点をつける	伝国	H26	40.6	51.0	10.4
7	動物…「ねこ 鳥」となかまの言葉を書く	伝国	H25	78.6	90.9	12.3
8	「買った」を丁寧な言葉に直す	伝国	H26	71.6	81.6	10.0
9一	話すために必要な材料を選んで、話題を具体化するために適切なものを選ぶ	A	H23	71.0	46.9	-24.1
9二	聞く人に分かりやすく伝えるための工夫を選ぶ	A	H23	83.3	74.9	-8.4
9三	発表の終わりとしてふさわしい言葉を考えて書く	A	H23	75.0	84.3	9.3
10一	「はじめ」に書いてある内容として適切なものを選ぶ	B	H26	76.4	67.7	-8.7
10二	読む人に分かりやすく伝えるために必要な工夫として適切なものを選ぶ	B	H26	77.1	63.8	-13.3
10三	途中で終わっている「おわり」の部分の続きを考えて書く	B	H26	80.1	72.8	-7.3
11一	主人公が母親に何をもらったか読み取る	C	H25	94.6	85.3	-9.3
11二	□ にどのような言葉が入るか考えて書く	C	H25	84.8	78.3	-6.5
11三	きつねがぼうしを見せたときの様子を考え、その理由として文章中の言葉あげる	C	H25	24.5	24.3	-0.2

※設問9一は、H23年度の調査問題を改変したため、過去調査の正答率との比較はできません。

<領域等> A: 話すこと・聞くこと B: 書くこと C: 読むこと 伝国: 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

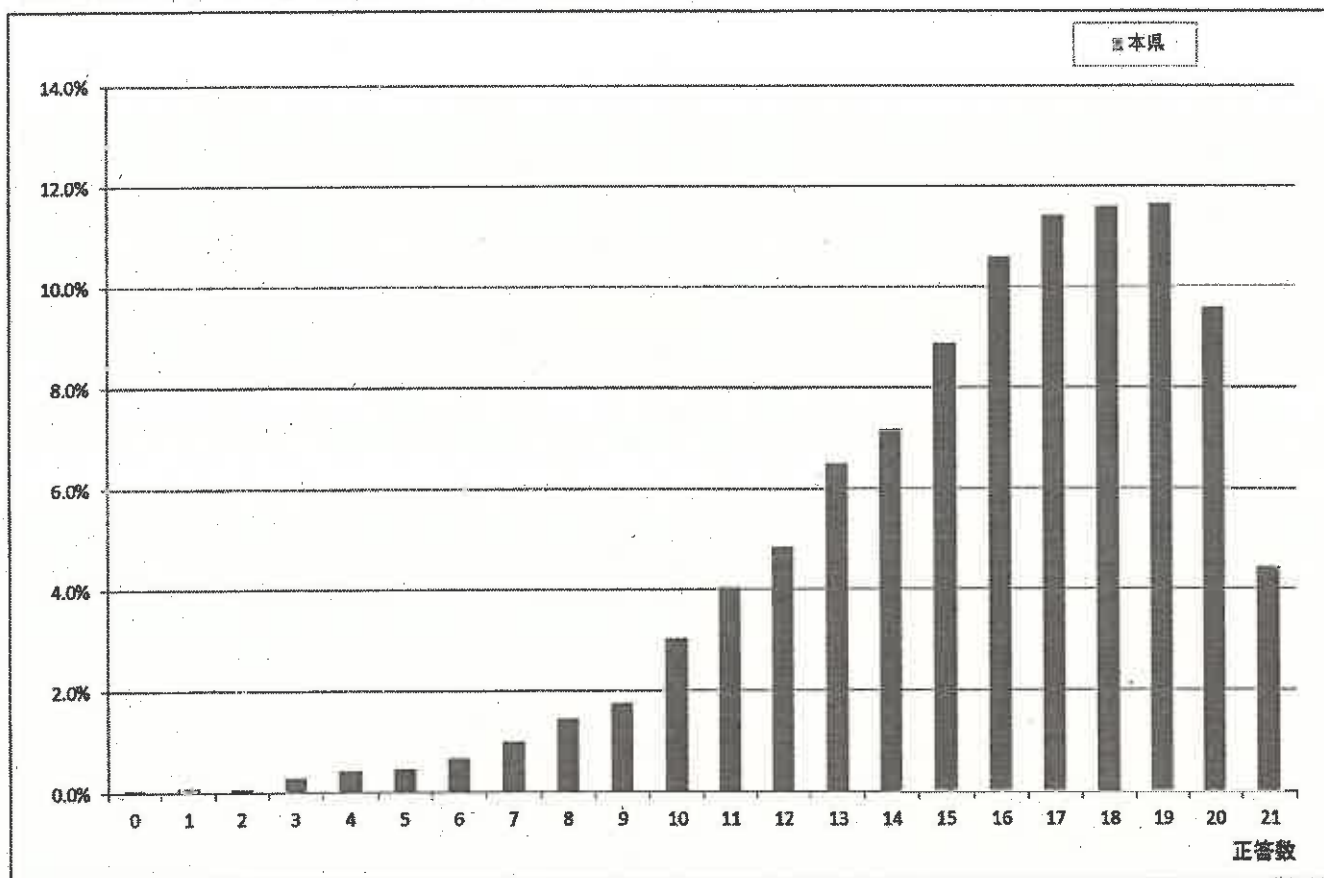
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における，読点の打ち方，意味による語句のまとまりを理解することについては，改善の傾向が見られる。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における，漢字を読むことについては定着が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において，自分の考えを明確に伝えるために構成を工夫することや，相手に応じて事柄を順序立てて話す工夫をすることに課題が見られる。
⇒構成を考えることで自分の考えがよりはっきりすること，経験したことや作業の手順など順序に沿って話すことで相手により具体的に伝わることを，学習活動を通して実感しながら理解することが重要である。
- 「読むこと」の領域において，物語の中の言葉を手がかりにして登場人物の様子を想像して読むことに課題が見られる。
⇒物語の場面や登場人物の様子を想像して読む学習では，「どこからそう思うの」という問いかけを大切に，児童が着目した物語の中の言葉に線を引いたり書き抜いたりして，その言葉について感じたことや経験したこと，考えたことなどを書く学習をさらに充実させる必要がある。

調査結果概況

対象児童数	平均正答数/設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6424人	15.7/21	74.9	16	3.67

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	10	71.8
	量と測定	3	68.8
	図形	3	78.0
	数量関係	6	78.1
評価の観点	数学的な考え方	3	65.8
	数量や図形についての技能	9	82.0
	数量や図形についての知識・理解	9	70.9
問題形式	選択式	5	61.9
	短答式	15	80.3
	記述式	1	59.6

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	知識 領域	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	7 (1)	図形	知識・ 理解	短答	箱の形 (立方体) の骨格模型を作るために必要な、ひご (辺) の数を求める	81.2	64.6 (H23)	+16.6
2	7 (2)	図形	知識・ 理解	短答	箱の形 (立方体) の骨格模型を作るために必要な、ねんど玉 (頂点) の数を求める	94.3	84.4 (H23)	+9.9
3	4	数と 計算	知識・ 理解	選択	目盛りが4ますのテープの、3倍の長さのテープを選ぶ	53.6	47.6 (H24)	+6.0
4	1 (3)	数と 計算	技能	短答	110-74 を計算する	76.8	73.8 (H25)	+3.0
5	3	数と 計算	知識・ 理解	短答	数直線を読み取り、↑が示す値を書く	60.1	58.2 (H23)	+1.9

下位5題

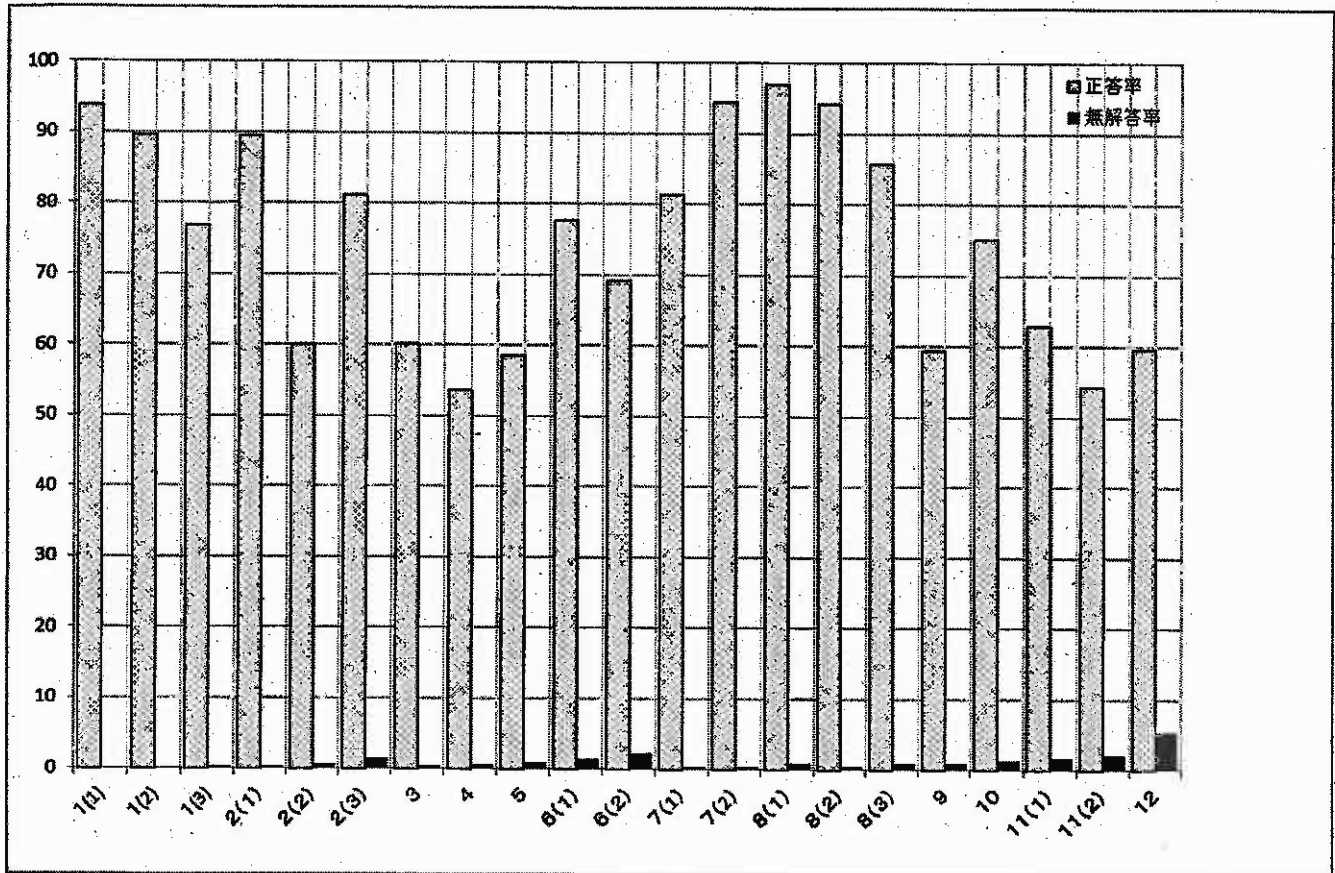
	設問番号	知識 領域	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	2 (3)	数と 計算	知識・ 理解	短答	乗法の式を読み取り、□に当てはまる数を書く	81.1	91.2 (H25)	-10.1
2	12	数と 計算	考え方	記述	45-7の計算の仕方について、示された解決方法を基に、7を5と2にわけて工夫して計算する方法を書く	59.6	65.9 (H24)	-6.3
3	8 (2)	数量 関係	技能	短答	グラフを基に、資料の数量が最も多い曜日を書く	94.1	96.5 (H27)	-2.4
4	11 (1)	数量 関係	考え方	選択	かずやさんの前に8人、後ろに6人が一列に並んでいる問題場面を読み取り、数量の関係を表すテープを選ぶ	62.8	64.2 (H26)	-1.4
5	6 (1)	量と 測定	技能	短答	10時15分から、時計の図が表す時刻までの時間を求める	77.6	78.7 (H25)	-1.1

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の概要	領域	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率 (%)	県正答率 (%)	H29-過去 (ポイント)
1(1)	$8 + 17$ を計算する	A	H24	92.2	93.7	1.5
1(2)	$75 + 28$ を計算する	A	H27	89.1	89.6	0.5
1(3)	$110 - 74$ を計算する	A	H25	73.8	76.8	3.0
2(1)	1000が4個、10が7個を合わせた数を書く	A	H23	88.2	89.4	1.2
2(2)	10000は、100を何個集めた数かを書く	A	H26	61.0	60.0	-1.0
2(3)	乗法の式を読み取り、□に当てはまる数を書く	A	H25	91.2	81.1	-10.1
3	数直線を読み取り、↑が示す値を書く	A	H23	58.2	60.1	1.9
4	目盛りが4ますのテープの、3倍の長さのテープを選ぶ	A	H24	47.6	53.6	6.0
5	長方形と正方形で、共通する特徴を選ぶ	C	H26	59.1	58.5	-0.6
6(1)	10時15分から、時計の図が表す時刻までの時間を求める	B	H25	78.7	77.6	-1.1
6(2)	時計の図が表す時刻から、1時間後の時刻を求める	B	H25	68.1	69.2	1.1
7(1)	箱の形(立方体)の骨格模型を作るために必要な、ひご(辺)の数を求める	C	H23	64.6	81.2	16.6
7(2)	箱の形(立方体)の骨格模型を作るために必要な、ねんど玉(頂点)の数を求める	C	H23	84.4	94.3	9.9
8(1)	グラフから資料の数量を読み取り、示された曜日に当てはまる数を書く	D	H27	96.2	96.9	0.7
8(2)	グラフを基に、資料の数量が最も多い曜日を書く	D	H27	96.5	94.1	-2.4
8(3)	グラフや表を基に、資料の数量の合計を求める	D	H27	84.1	85.6	1.5
9	年賀はがきを長方形とみて、短い方の辺のおよその長さを選ぶ	B	H24	60.3	59.4	-0.9
10	ものの数の求め方について、式や言葉で示された考え方に合う図を選ぶ	D	H27	75.6	75.1	-0.5
11(1)	かずやさんの前に8人、後ろに6人が一列に並んでいる問題場面を読み取り、数量の関係を表すテープ図を選ぶ	D	H26	64.2	62.8	-1.4
11(2)	かずやさんの前に8人、後ろに6人が一列に並んでいる問題場面を読み取り、全部で何人並んでいるかを求める式と答えを書く	A D	H26	53.3	54.2	0.9
12	$45 - 7$ の計算の仕方について、示された解決方法を基に、7を5と2にわけて工夫して計算する方法を書く	A	H24	65.9	59.6	-6.3

＜領域＞A：数と計算 B：量と測定 C：図形 D：数量関係

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

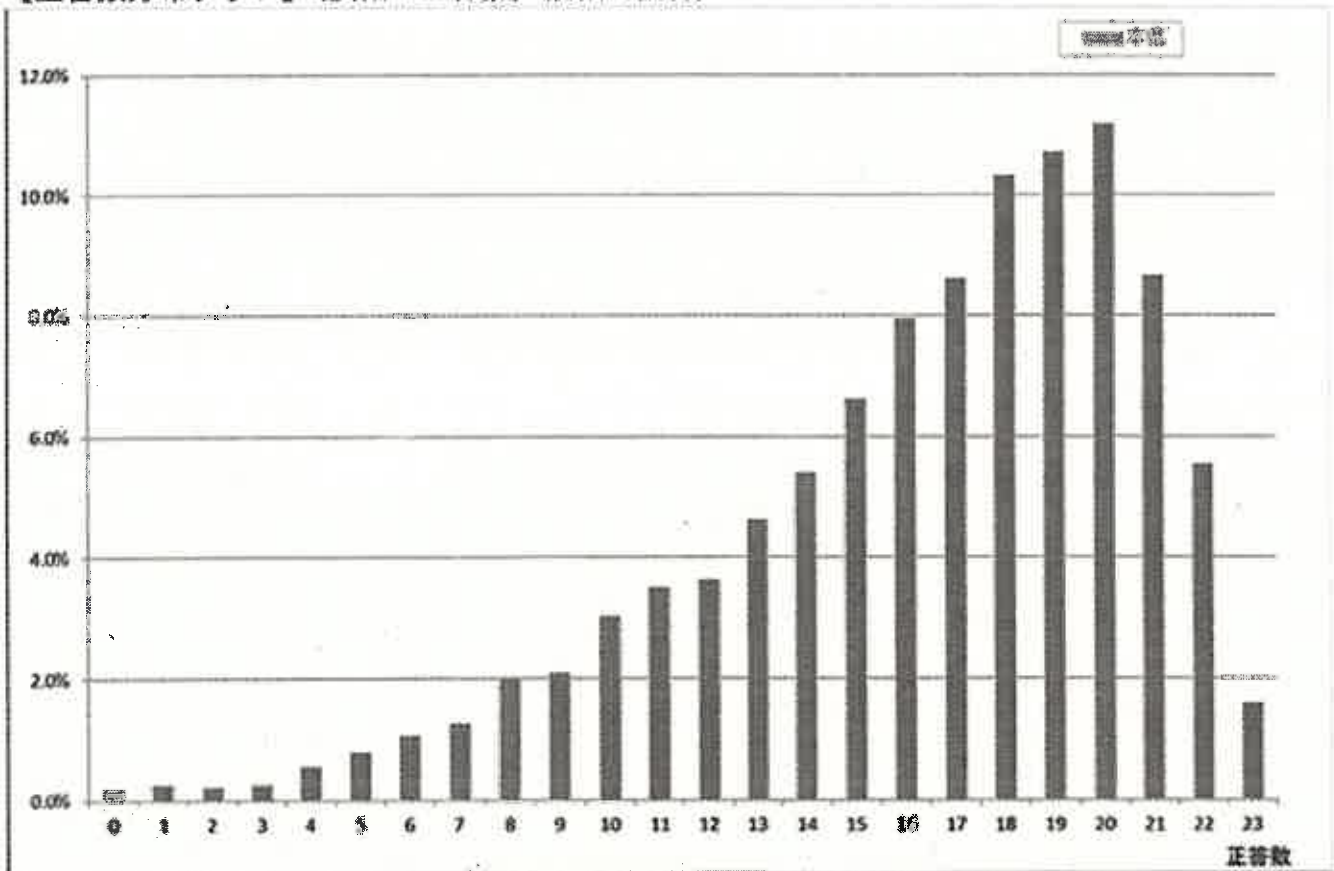
- 1位数+2位数の整数の計算については，正答率が高く，基本的な計算の技能は身に付いている。
- 「立体図形の構成要素」に関する内容や「倍」の意味について理解することに改善の傾向が見られる。
- 問題場面を読み取り，それを式に表すことについては，正答率は上昇しているものの，50%台であり，問題場面を的確に捉えることに課題が見られる。
 - ⇒ 日常生活の問題を解決するに当たり，問題の構造を捉える事が大切である。そのためには，実際に問題場面を具体物を用いて再現したり，図に表したりする活動を取り入れることが考えられる。
- 乗法数と積の関係を理解することや，示された考えを解釈し，その考えを異なる数値の式に適用して，計算の過程を記述することに課題が見られる。
 - ⇒ 計算のきまりを帰納的に見付けたり，問題場面と式，言葉に関連付けて，示された式の数値や符号について吟味したりする学習を取り入れる必要がある。また，自分の考えを筋道立てて説明したり，記述したりすることができるような取組を継続して行うことも大切である。

調査結果概況

対象児童数	平均正答数/設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6657人	16.3/23	71.0	17	4.39

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	75.1
	書くこと	3	71.7
	読むこと	3	61.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	14	72.0
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	2	47.1
	話す・聞く能力	3	75.1
	書く能力	3	71.7
	読む能力	3	61.4
	言語についての知識・理解・技能	14	72.0
問題形式	選択式	10	70.6
	短答式	11	75.6
	記述式	2	47.1

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数、縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	知識・技能 領域	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	2二	伝国	言語	短答	漢字を書く (あさがおの成長を <u>かん</u> <u>さつ</u> する)	72.3	57.7 (H26)	+14.6
2	9三	書く こと	書く	選択	自分の体験と結び付けた内容の文章 を、どの段落の後に入れるとよいか 選ぶ	70.9	60.4 (H23)	+10.5
3	6二	伝国	言語	選択	「選挙」という熟語がどんな漢字の 組み合わせになっているか、適切な ものを選ぶ	39.7	29.4 (H24)	+10.3
4	10一	読む こと	読む	短答	「めずらしい生物」の具体例として 挙げられている動植物を二つ書く	67.9	58.2 (H25)	+9.7
5	10二 (1)	読む こと	読む	選択	インターネットで見つけた資料から、 ガラパゴスの生物が絶滅しそう になった理由を読み取る	78.5	69.6 (H25)	+8.9

下位5題

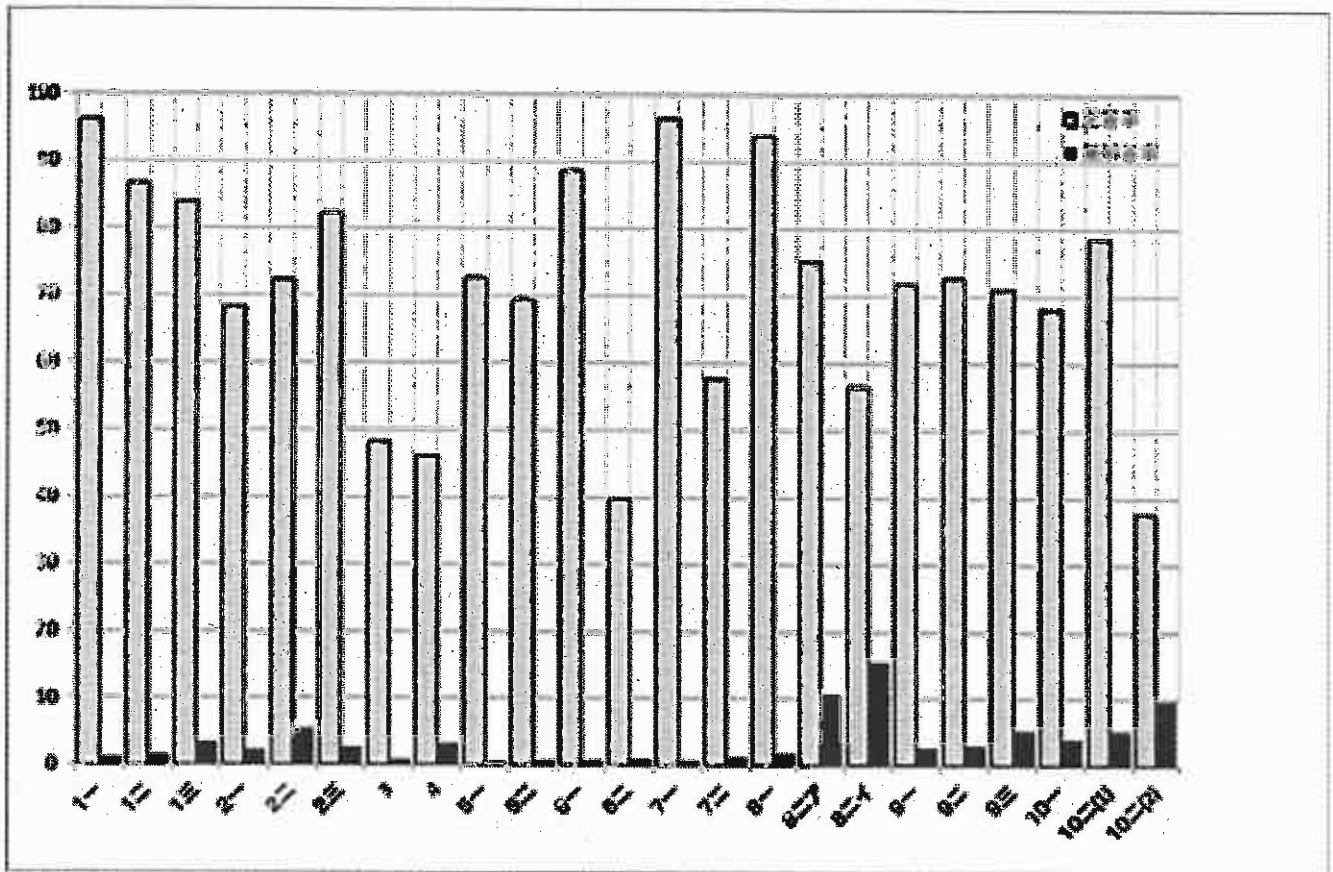
	設問番号	知識・技能 領域	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	10二 (2)	読む こと	関心・ 読む	記述	ガラパゴスの生物と環境を守るため に大切なことは何か、資料を参考に して、自分の考えを書く	37.7	43.4 (H25)	-5.7
2	7二	伝国	言語	短答	「健康をたもつには、十分なすいみ んが欠かせないし、栄養のある食事 も必要だ。」という文を二つの文に分 けて書くときに、適切な接続語を書 く	57.6	60.0 (H26)	-2.4
3	3	伝国	言語	選択	「きのう姉といっしょに見た流れ星 は、とてもきれいでした。」の主語を 選ぶ	48.2	49.7 (H23)	-1.5
4	6一	伝国	言語	選択	「勝敗」という熟語がどんな漢字の 組み合わせになっているか、適切な ものを選ぶ	88.5	89.4 (H24)	-0.9
5	8一	話す こと 聞く	話す・ 聞く	選択	メモを取るときのアドバイスとして ふさわしいものを選ぶ	93.6	94.2 (H26)	-0.6

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の要素	領域等	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率 (%)	県正答率 (%)	H29-過去 (ポイント)
1一	漢字を読む（神社の地図記号を調べる）	伝国	H25	92.1	96.0	3.9
1二	漢字を読む（いたみが治まる）	伝国	H24	83.3	86.5	3.2
1三	漢字を読む（春のおとずれを告げる）	伝国	H25	83.6	83.7	0.1
2一	漢字を書く（はじめて入賞する）	伝国	H27	68.7	68.3	-0.4
2二	漢字を書く（あさがおの成長をかんさつする）	伝国	H26	57.7	72.3	14.6
2三	漢字を書く（日本のれきしを学ぶ）	伝国	H23	74.8	82.1	7.3
3	「きのう姉といっしょに見た流れ星は、とてもきれいでした。」の主語を選ぶ	伝国	H23	49.7	48.2	-1.5
4	「わたしは、手紙を九州の祖父に書いた。」の「手紙を」という言葉が係っている言葉として適切なものを選び出す	伝国	H26	40.3	46.1	5.8
5一	「…ほかの人たちが、それに合った取りふだを…」の「それ」が指し示している言葉として適切なものを選ぶ	伝国	H27	69.7	72.6	2.9
5二	「…選手の顔つきや視線、それらから感じられる気も持ちまでは…」の「それら」が指し示している言葉として適切なものを選ぶ	伝国	H27	63.2	69.4	6.2
6一	「勝敗」という熟語がどんな漢字の組み合わせになっているか、適切なものを選ぶ	伝国	H24	89.4	88.5	-0.9
6二	「選挙」という熟語がどんな漢字の組み合わせになっているか、適切なものを選ぶ	伝国	H24	29.4	39.7	10.3
7一	「問題はむずかしかつたけれど、答えを出すことができた。」という文を二つの文に分けて書くときに、適切な接続語を書く	伝国	H26	94.6	96.3	1.7
7二	「健康をたもつには、十分なすいみんが欠かせないし、栄養のある食事も必要だ。」という文を二つの文に分けて書くときに、適切な接続語を書く	伝国	H26	60.0	57.6	-2.4
8一	メモを取るときのアドバイスとしてふさわしいものを選ぶ	A	H26	94.2	93.6	-0.6
8二ア	林間学校についての話を聞き、どの活動について質問するかを考える	A	H26	69.7	75.0	5.3
8二イ	林間学校についての話を聞き、活動についてどのようなことを質問するかを考える	A	H26	48.1	56.5	8.4
9一	川島さんが意見文を書くときにもとにした資料を選ぶ	B	H23	67.8	71.6	3.8
9二	文章全体の組み立て表に入る適切なものを選ぶ	B	H23	68.7	72.7	4.0
9三	自分の体験と結び付けた内容の文章を、どの段落の後に入れるとよいか選ぶ	B	H23	60.4	70.9	10.5
10一	「めずらしい生物」の具体例として挙げられている動植物を二つ書く	C	H25	58.2	67.9	9.7
10二 (1)	インターネットで見つけた資料から、ガラバゴスの生物が絶滅しそうになった理由を読み取る	C	H25	69.6	78.5	8.9
10二 (2)	ガラバゴスの生物と環境を守るために大切なことは何か、資料を参考にして、自分の考えを書く	C	H25	43.4	37.7	-5.7

<領域等> A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと 伝国：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【設問別正答率・無解答率グラフ】(横軸：設問番号, 縦軸：割合)



【各教科の分析・考察】

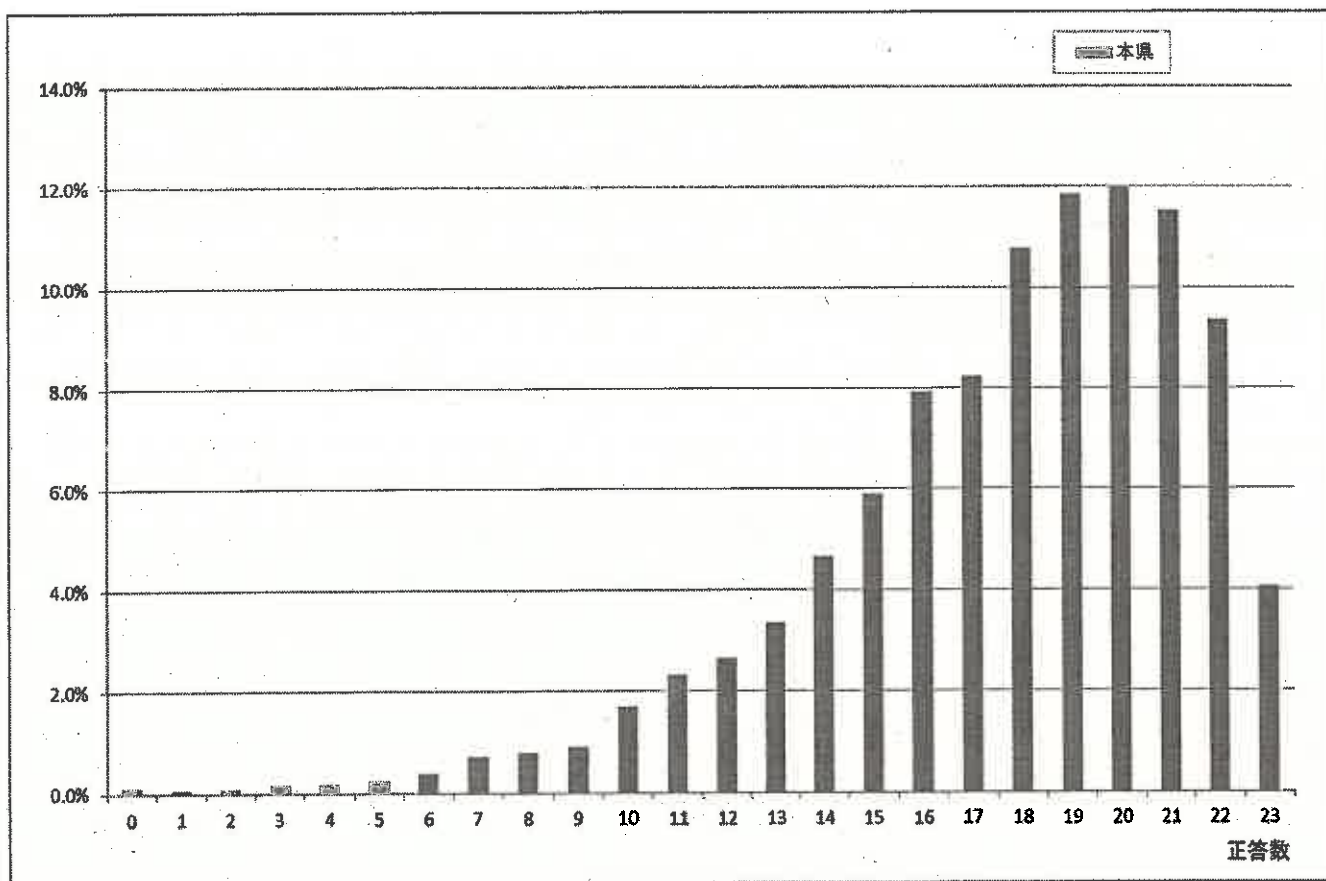
- 「読むこと」の領域における, 文章の構成を考えて中心となる語や文を捉えることや, 資料の内容を理解することについて, 改善の傾向が見られる。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」における, 漢字を読むことについては定着が見られる。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について, 重文や複文における主語と述語との関係, 修飾語と被修飾語との関係など, 文の構成を理解することに依然として課題が見られる。
⇒「書くこと」の学習との関連を図り, 文の構成の間違いを正すことなどの視点を明確にした推敲の指導を充実させる必要がある。
- 「読むこと」の領域において, 目的に応じて文章や資料の要旨を捉え, それを基にして自分の考えを書くことに依然として課題が見られる。
⇒文章や資料を読んで文や語句などを引用したり要約したりする学習では, 「考えを深める」「調べたことを報告する」など目的を明確にした上で, 必要に応じて引用, 要約し, さらに引用したことや要約したことについて自分の感想や考えを書くことなどの指導を充実させる必要がある。

調査結果概況

対象児童数	平均正答数／設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6657人	17.6／23	76.7	18	3.81

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	9	77.9
	量と測定	3	63.3
	図形	4	77.6
	数量関係	9	73.3
評価の観点	数学的な考え方	4	65.1
	数量や図形についての技能	8	84.4
	数量や図形についての知識・理解	11	75.3
問題形式	選択式	11	77.0
	短答式	10	80.4
	記述式	2	56.5

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	知識・技能	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	4 (1)	図形	知識・理解	選択	展開図を組み立てたとき、できる立体の名称を選ぶ	83.9	70.8 (H23)	+13.1
2	8 (3)	数量関係	技能	短答	正三角形のまわりの長さが24cmのとき、1辺の長さを求める	76.3	68.3 (H25)	+8.0
3	3	数と計算	知識・理解	選択	数直線上に示された黒く色を塗った部分の長さを表す分数を選ぶ	84.0	76.2 (H24)	+7.8
4	11 (2)	数と計算 数量関係	考え方	記述	98×4の計算の仕方について、示された解決方法を基に、工夫して計算する過程を書く	38.0	30.9 (H24)	+7.1
5	1 (4)	数と計算	技能	短答	$20 - 8 \div 4$ を計算する	84.2	77.7 (H26)	+6.5

下位5題

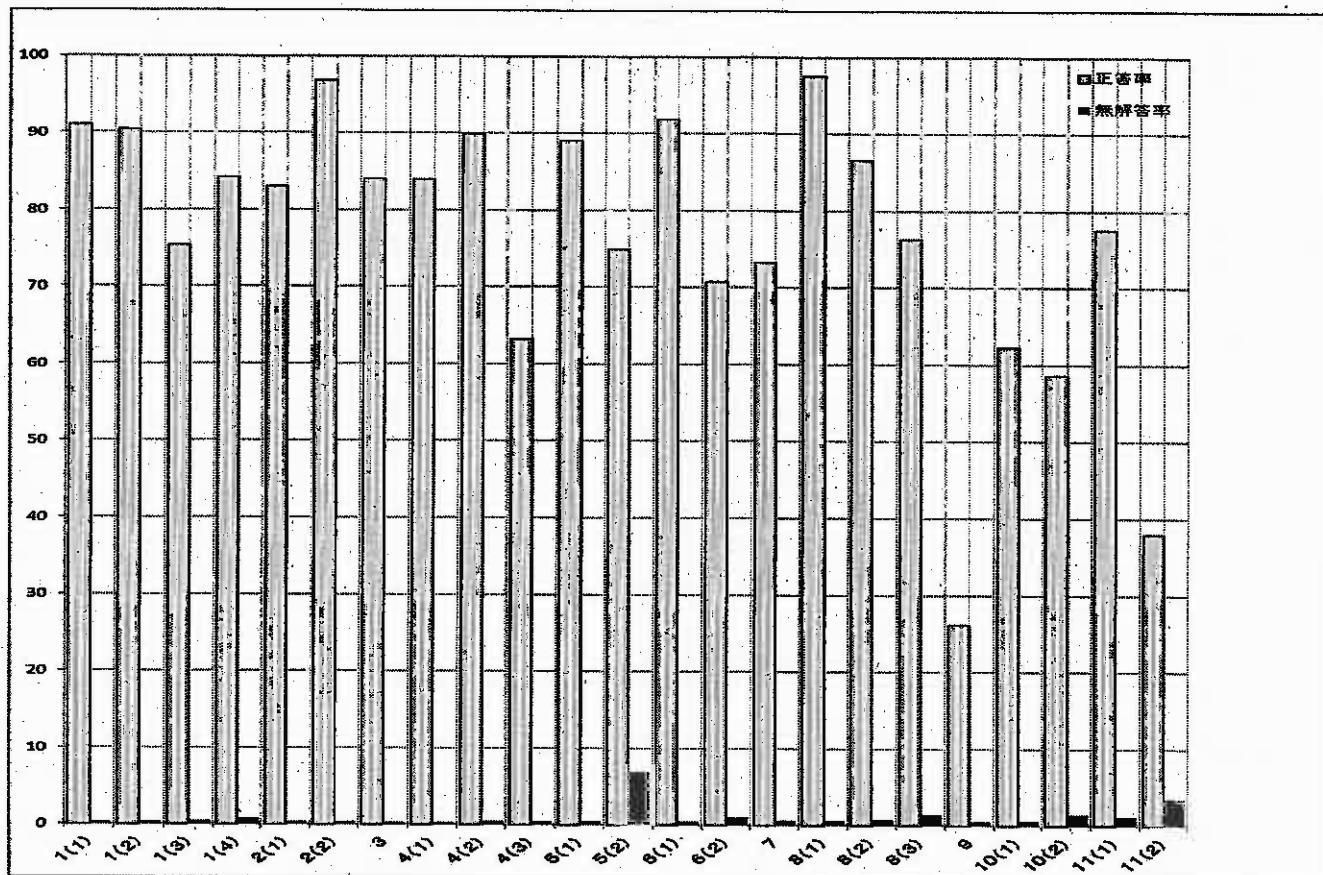
	設問番号	知識・技能	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	6 (2)	数量関係	技能	短答	資料を二つの観点から分類整理し、表に当てはまる資料の数を求める	70.7	75.3 (H27)	-4.6
2	5 (2)	量と測定	考え方	記述	複合図形の面積の求め方を説明している言葉や式を読み取り、図に表す	74.9	77.1 (H23)	-2.2
3	11 (1)	数量関係	知識・理解	選択	式に使われている計算のきまりを読み取り、 \square , \bullet , \blacktriangle を使って計算のきまりを一般化した式から、乗法の分配法則を表す式を選ぶ	77.5	78.7 (H24)	-1.2
4	6 (1)	数量関係	知識・理解	選択	二つの項目と単位に着目して二次元表を読み取り、示された数が意味している事柄を選ぶ	91.8	92.7 (H27)	-0.9
5	1 (1)	数と計算	技能	短答	$537 - 251$ を計算する	91.0	91.0 (H24)	0.0

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の概要	領域	過去調査		H29調査	
			年度	真答率 (%)	県正答率 (%)	H29-過去 (ポイント)
1(1)	$537-251$ を計算する	A	H24	91.0	91.0	0.0
1(2)	$7-0.5$ を計算する	A	H27	88.6	90.4	1.8
1(3)	3.8×6 を計算する	A	H26	74.9	75.4	0.5
1(4)	$20-8 \div 4$ を計算する	A	H26	77.7	84.2	6.5
2(1)	$12 \div 4$ の商と等しい式を選ぶ	A	H24	81.0	83.0	2.0
2(2)	1.57は、0.01を何に集めた数か書く	A	H25	94.4	96.8	2.4
3	数直線上に示された黒く色を塗った部分の長さを表す分数を選ぶ	A	H24	76.2	84.0	7.8
4(1)	展開図を組み立てたとき、できる立体の名称を選ぶ	C	H23	70.8	83.9	13.1
4(2)	展開図を組み立てたとき、重なり合う点を見つける	C	H23	83.8	89.9	6.1
4(3)	展開図に示される辺の長さを求める	C	H23	61.0	63.2	2.2
5(1)	複合図形の面積の求め方を説明している図や言葉を読み取り、面積を求める式を選ぶ	B	H23	87.9	89.0	1.1
5(2)	複合図形の面積の求め方を説明している言葉や式を読み取り、図に表す	B	H23	77.1	74.9	-2.2
6(1)	二つの項目と単位に着目して二次元表を読み取り、示された数が意味している事柄を選ぶ	D	H27	92.7	91.8	-0.9
6(2)	資料を二つの観点から分類整理し、表に当てはまる資料の数を求める	D	H27	75.3	70.7	-4.6
7	長方形と平行四辺形で、共通する特徴を選ぶ	C	H26	68.7	73.2	4.5
8(1)	正三角形の1辺の長さともわりの長さをまとめた表を読み取り、当てはまる数を求める	D	H25	97.3	97.5	0.2
8(2)	正三角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを○cmとしたとき、□と○の関係を表した式を選ぶ	D	H25	85.9	86.6	0.7
8(3)	正三角形のまわりの長さが24cmのとき、1辺の長さを求める	D	H25	68.3	76.3	8.0
9	算数の教科書の表紙の面積は、約何cm ² といえるかを選ぶ	B	H25	25.5	26.1	0.6
10(1)	12mの赤いテープの長さが白いテープの長さの4倍に当たるとき、2つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ	D	H25	61.4	62.3	0.9
10(2)	12mの赤いテープの長さが白いテープの長さの4倍に当たるとき、白いテープの長さを求める式を書く	AD	H25	53.8	58.6	4.8
11(1)	式に使われている計算のきまりを読み取り、■、●、▲を使って計算のきまりを一般化した式から、乗法の分配法則を表す式を選ぶ	D	H24	78.7	77.5	-1.2
11(2)	98×4 の計算の仕方について、示された解決方法を基に、工夫して計算する過程を書く	AD	H24	30.9	38.0	7.1

<領域> A : 数と計算 B : 量と測定 C : 図形 D : 数量関係

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

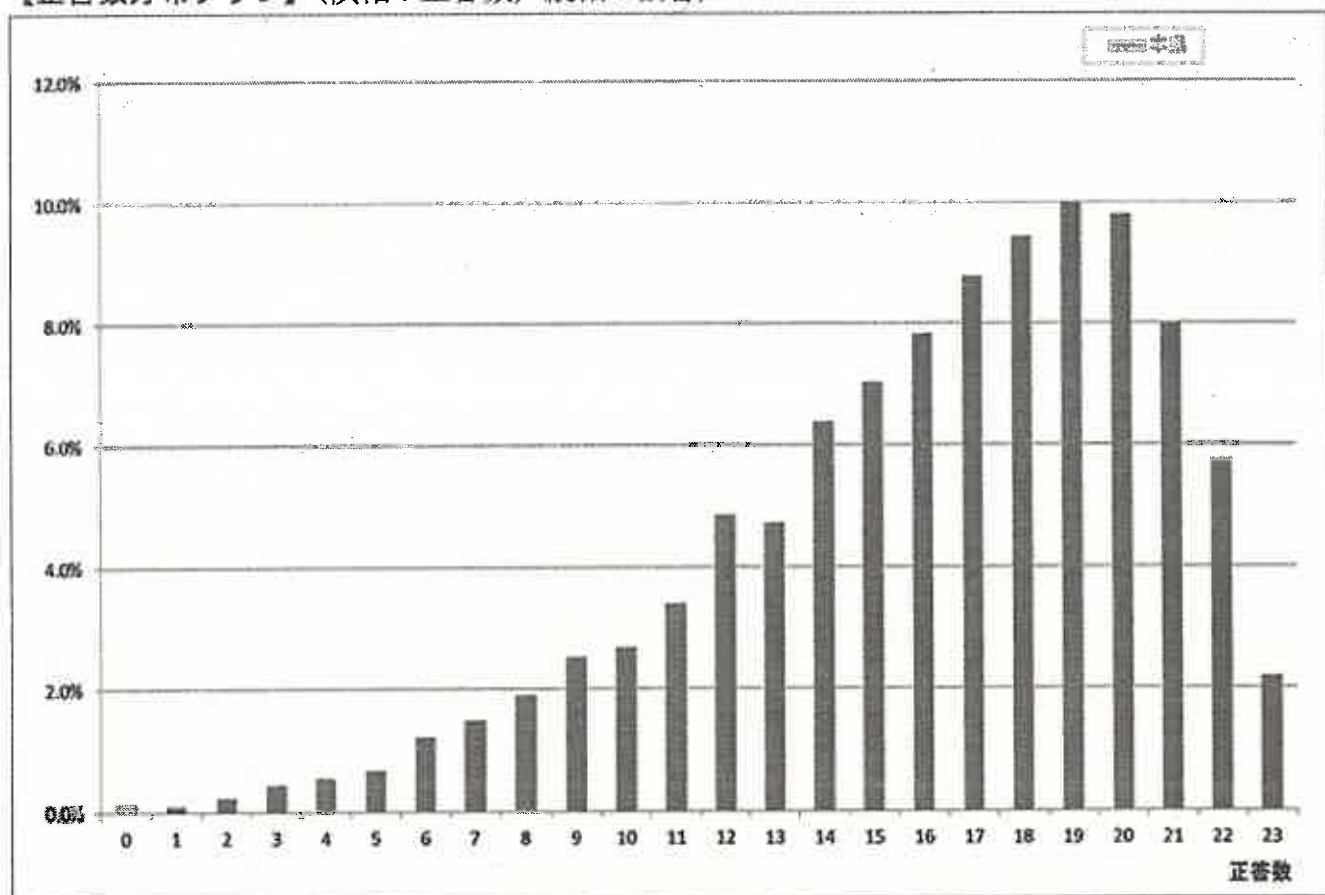
- 基本的な計算の技能や小数の構造に関する知識に関する設問は，正答率が高く，定着が見られる。
- 展開図と実物の立体との関係について理解することに改善の傾向が見られる。
- 示された計算方法を解釈し，工夫して計算する過程を書くことに課題がある。
 - ⇒計算のきまりを様々な数値を当てはめて確かめたり，計算のきまりと筆算との関連について検討したりする活動が考えられる。
- 数量関係の領域において，資料を二つの観点から分類整理した表を解釈することに課題がある。
 - ⇒日常の事象を表やグラフに表したり，表やグラフから読み取ることができる内容を話し合ったりする活動を取り入れることが大切である。また，収集した資料を，目的をもって整理し直し，考察する活動も考えられる。

調査結果概況

対象生徒数	平均正答数/設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6814人	16.2/23	70.3	17	4.41

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	68.3
	書くこと	2	76.4
	読むこと	3	76.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	15	68.6
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	77.4
	話す・聞く能力	3	68.3
	書く能力	2	76.4
	読む能力	3	76.4
	言語についての知識・理解・技能	15	68.6
問題形式	選択式	11	71.1
	短答式	9	66.9
	記述式	3	77.4

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	評価 要素の 分類	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	4三	読む こと	関心 ・ 読む	記述	物語の終わり方の効果を考えて書く	75.5	50.1 (H23)	+25.4
2	1四ア	伝国	言語	選択	「耳につく」の意味として適切なものを選択する	54.9	43.1 (H25)	+11.8
3	1一3	伝国	言語	短答	漢字を書く (けわしい道のりを歩く)	75.3	65.8 (H24)	+9.5
4	1五イ	伝国	言語	選択	適切な接頭語 (未) を選択する	89.6	80.6 (H24)	+9.0
5	1二2	伝国	言語	短答	漢字を読む (客をバスで送迎する)	71.8	64.0 (H26)	+7.8

下位5題

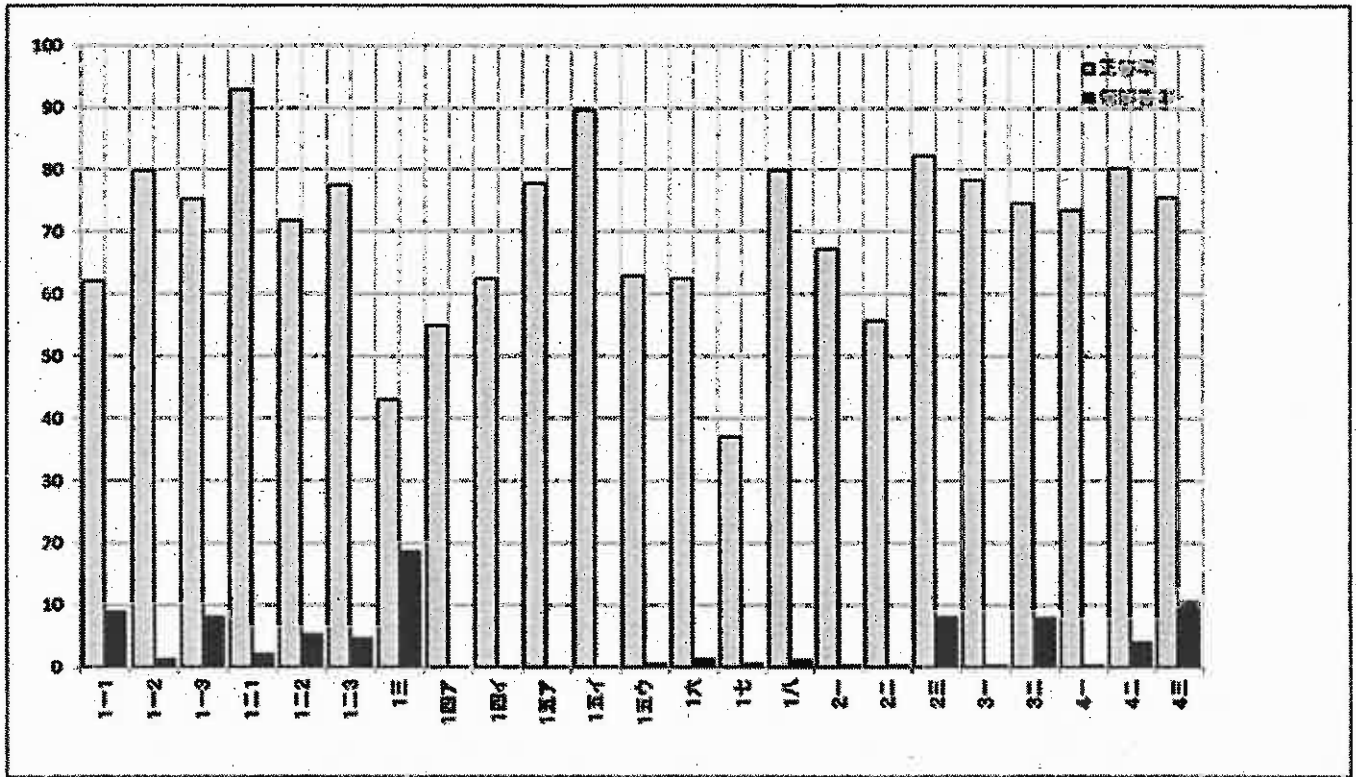
	設問番号	評価 要素の 分類	評価の 観点	問題 形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	1三	伝国	言語	短答	「をりとりて」を「おりとりて」と書き直す	43.0	56.9 (H26)	-13.9
2	1一1	伝国	言語	短答	漢字を書く (天体をかんそくしてレポートを書く)	62.1	68.4 (H23)	-6.3
3	2三	読む こと ・ 聞く	関心 ・ 読む ・ 聞く	記述	スピーチの話し始めの「問いかけ」の部分を書く	82.2	85.6 (H25)	-3.4
4	4二	読む こと	読む	選択	会話の主が「少年」か「父親」かを読み取る	80.2	83.2 (H23)	-3.0
5	1一2	伝国	言語	短答	漢字を書く (みどりの大地を大切に する)	79.9	82.7 (H25)	-2.8

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の概要	領域等	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率 (%)	県正答率 (%)	H28-過去 (ポイント)
1-1	漢字を書く（天体をかんそくしてレポートを書く）	伝国	H23	68.4	62.1	-6.3
1-2	漢字を書く（みどりの大地を大切に作る）	伝国	H25	82.7	79.9	-2.8
1-3	漢字を書く（けわしい道のりを歩く）	伝国	H24	65.8	75.3	9.5
1-2-1	漢字を読む（二人の話には矛盾がある）	伝国	H24	93.8	92.9	-0.9
1-2-2	漢字を読む（客をバスで送迎する）	伝国	H26	64.0	71.8	7.8
1-2-3	漢字を読む（緩いカーブを曲がる）	伝国	H25	76.6	77.5	0.9
1-3	「をりとりて」を「おりとりて」と書き直す	伝国	H26	56.9	43.0	-13.9
1-4ア	「耳につく」の意味として適切なものを選択する	伝国	H25	43.1	54.9	11.8
1-4イ	「きまりが悪くなって」の意味として適切なものを選択する	伝国	H25	60.0	62.5	2.5
1-5ア	適切な語句（修めた）を選択する	伝国	H24	75.5	77.8	2.3
1-5イ	適切な接続語（未）を選択する	伝国	H24	80.6	89.6	9.0
1-5ウ	適切なことわざ（急がば回れ）を選択する	伝国	H26	58.3	62.9	4.6
1-6	指示語が指し示す内容を書く	伝国	H24	60.2	62.4	2.2
1-7	「渡り鳥が、はるか北の空へと飛んでいく」という文の文節の数を書く	伝国	H25	39.7	37.0	-2.7
1-8	「ない」の主語として「風が」を一文節で選択する	伝国	H26	78.2	79.9	1.7
2-1	スピーチメモの「伝えたいこと」の内容を選択する	A	H25	60.2	67.2	7.0
2-2	スピーチ中の言葉「俳人」を「俳句を作る人」と言い換えることによる効果として、適切でないものを選択する	A	H25	57.2	55.6	-1.6
2-3	スピーチの話し始めの「問いかけ」の部分を書く	A	H25	85.6	82.2	-3.4
3-1	説明に書く必要がある事柄を選択する	B	H25	79.2	78.3	-0.9
3-2	図を使い、「土台」の仕組みについて、条件に従って説明を書く	B	H25	71.4	74.5	3.1
4-1	「小さいなりにふところが深く」の様子を読み取る	C	H23	73.6	73.4	-0.2
4-2	会話の主が「少年」か「父親」かを読み取る	C	H23	83.2	80.2	-3.0
4-3	物語の終わり方の効果を考えて書く	C	H23	50.1	75.5	25.4

＜領域等＞A：話すこと・聞くこと B：書くこと C：読むこと 伝国：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

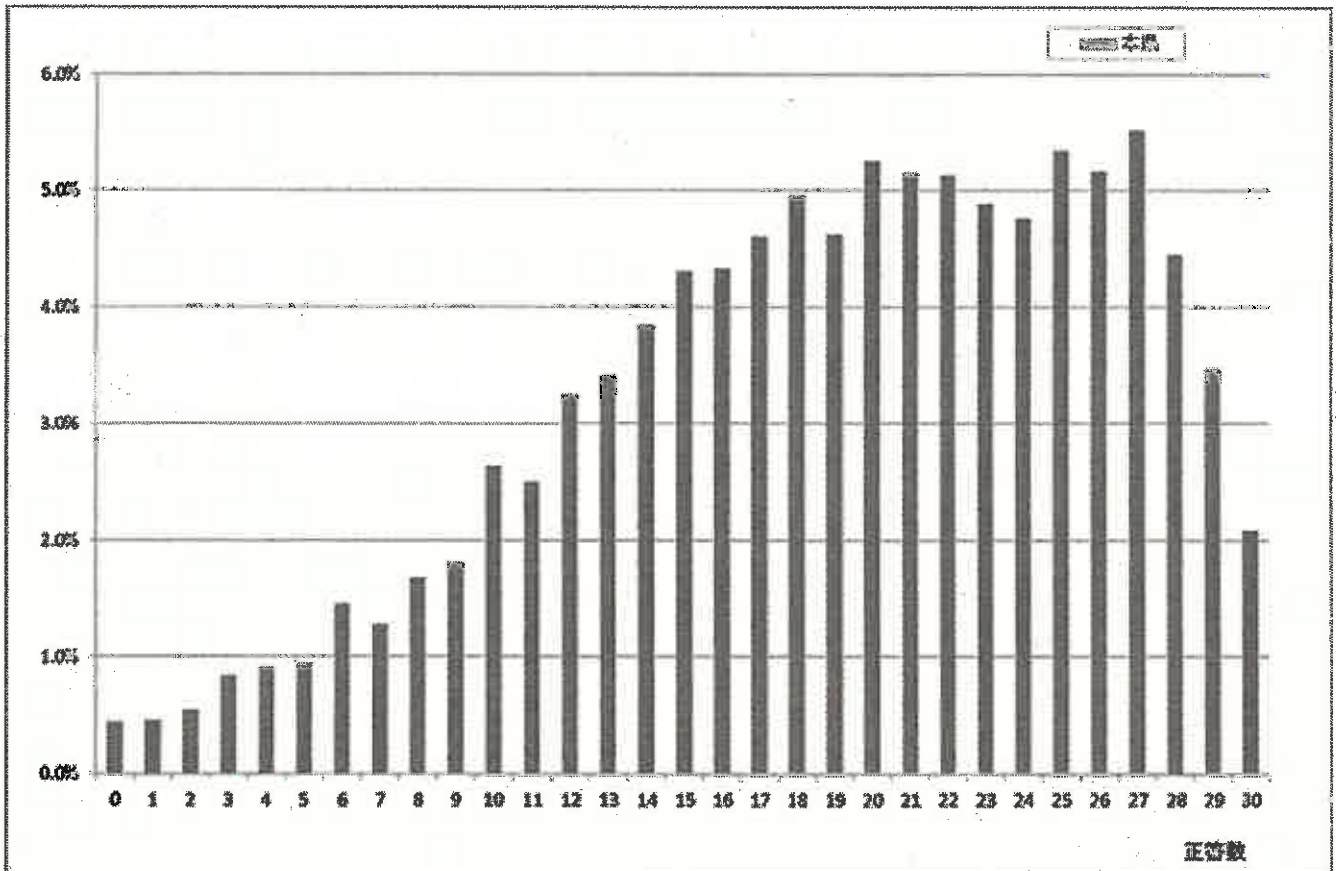
- 「読むこと」の領域で、「文章の構成について自分の考えをもつこと」について正答率が上昇した。全体的に記述式の設問に改善の傾向が見られる。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、言葉の意味や適切な語句等を選択する設問は、いずれも正答率が上昇した。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことや漢字を書くことに課題が見られる。
⇒古典の指導では、情景を想像したり繰り返し音読したりして、古典の世界に触れながら文語のきまりを理解するよう指導することが大切である。また、漢字の組み立てや部首に着目して意味を捉えるなど、漢字の特徴を理解して適切に使えるよう指導する必要がある。
- 「話すこと・聞くこと」の領域で、聞き手を意識して、相手に分かるような言葉を選んで話すことに課題が見られる。
⇒耳で聞いただけでは理解しにくい語句を分かりやすい表現に言い換えたり、聞き手の状況を判断して語句を選んだりして話すよう指導することが大切である。

調査結果概況

対象生徒数	平均正答数/設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6811人	19.0/30	63.2	20	6.92

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と式	13	61.8
	図形	8	67.4
	関数	5	66.4
	資料の活用	4	55.5
評価の観点	数学的な見方や考え方	6	51.8
	数学的な技能	14	67.0
	数量や図形などについての知識・理解	10	64.8
問題形式	選択式	7	75.8
	短答式	19	62.1
	記述式	4	46.7

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	学習領域	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	1 1 (2)	資料活用	技能	短答	ヒストグラムから最も度数の大きい階級の階級値を読み取る	42.0	18.5 (H26)	+23.5
2	3 (1)	数と式	考え方	記述	比例式から数量の関係を読み取る	45.7	31.3 (H26)	+14.4
3	1 1 (3)	資料活用	知識理解	短答	相対度数の意味を理解し、ヒストグラムから相対度数を求める	35.0	21.5 (H26)	+13.5
4	1 0 (2)	関数	考え方	記述	日常的な事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉えられるようにし、数学的な表現を用いて説明する	30.3	18.8 (H27)	+11.5
5	2 (3)	数と式	知識理解	短答	絶対値が5である数をすべて求める	81.5	72.0 (H24)	+9.5

下位5題

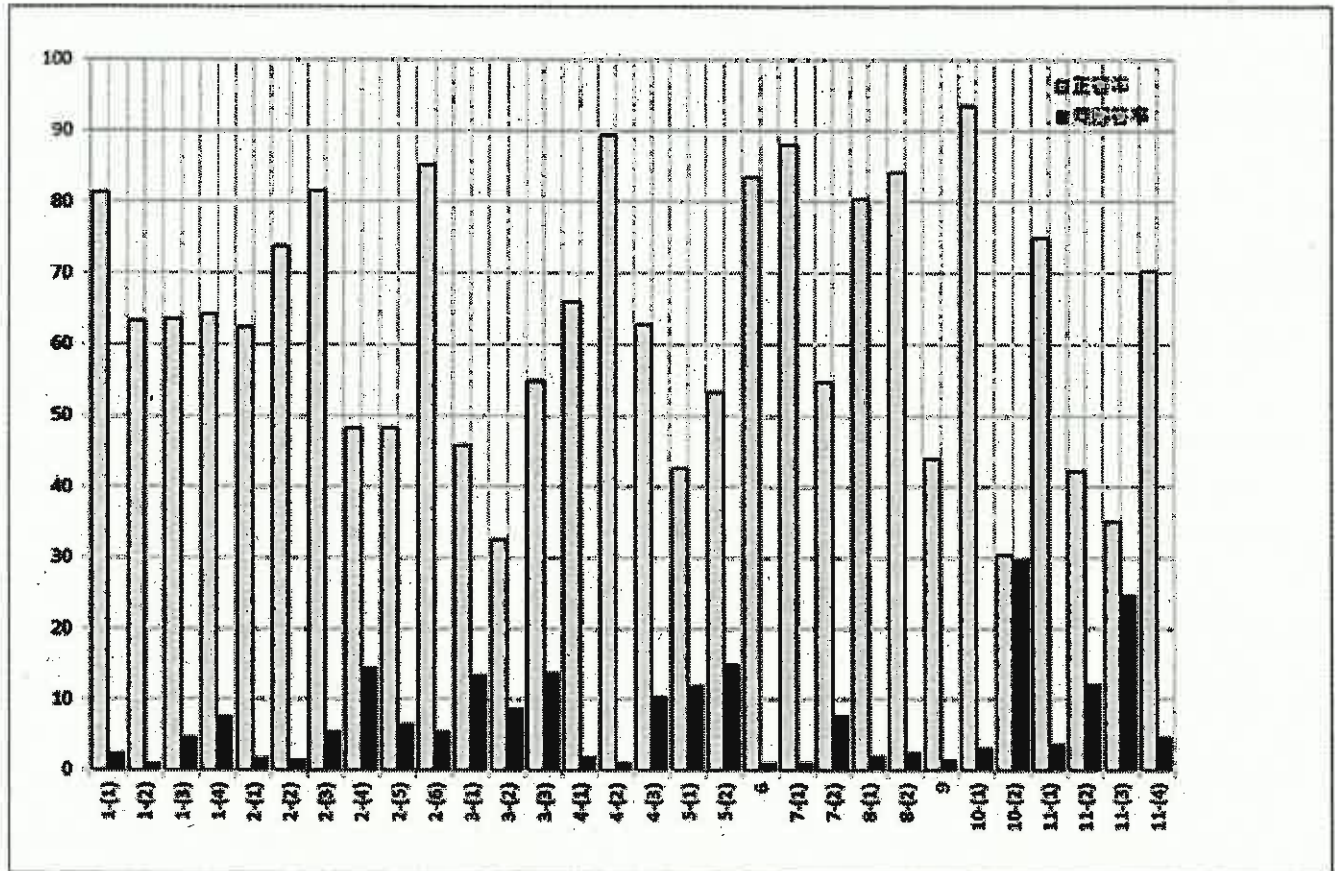
	設問番号	学習領域	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	2 (5)	数と式	技能	短答	式の値を求める	48.1	61.9 (H25)	-13.8
2	1 (3)	数と式	技能	短答	多項式の加法の計算をする	63.5	71.9 (H25)	-8.4
3	2 (6)	数と式	技能	短答	一次方程式を解く	85.2	87.0 (H25)	-1.8
5	7 (1)	図形	技能	選択	長方形の一辺を軸にして回転させたときの回転体を答える	88.0	87.8 (H27)	+0.2
4	8 (1)	関数	知識理解	短答	点(-3, 2)を、座標平面上に示す	80.3	79.9 (H26)	+0.4

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問番号	設問の概要	領域	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率(%)	県正答率(%)	H29-過去(ポイント)
1(1)	分数の減法の計算をする	A	H26	79.8	81.3	1.5
1(2)	累乗の指数を含む正の数と負の数の計算をする	A	H24	57.6	63.2	5.6
1(3)	多項式の加法の計算をする	A	H25	71.9	63.5	-8.4
1(4)	分数を含む文字式の計算において、分配法則を用いて計算をする	A	H27	62.5	64.1	1.6
2(1)	自然数の範囲での四則計算の可能性について理解する	A	H25	57.8	62.2	4.4
2(2)	正の数と負の数の差を求める	A	H24	67.3	73.6	6.3
2(3)	絶対値が5である数をすべて求める	A	H24	72.0	81.5	9.5
2(4)	式で表された数量の関係を、事象に照らして読み取る	A	H27	39.0	48.0	9.0
2(5)	式の値を求める	A	H25	61.9	48.1	-13.8
2(6)	一次方程式を解く	A	H25	87.0	85.2	-1.8
3(1)	比例式から数量の関係を読み取る	A	H26	31.3	45.7	14.4
3(2)	全体と部分の関係を比で表す	A	H26	27.8	32.4	4.6
3(3)	問題文で示されている比例式を解く	A	H26	49.8	54.7	4.9
4(1)	指定された三角形を回転移動させたときにぴったり重なる三角形を答える	B	H27	58.8	65.9	7.1
4(2)	角の二等分線の作図の手順を答える	B	H26	87.9	89.4	1.5
4(3)	作図を用いて円の中心を求める	B	H24	57.8	62.7	4.9
5(1)	立方体の見取図から実際の面と辺の位置関係を求める	B	H25	38.9	42.4	3.5
5(2)	立方体における面と面の位置関係を求める	B	H25	47.1	53.1	6.0
6	投影図から空間図形を読み取り、立体の名称を選ぶ	B	H28	79.2	83.4	4.2
7(1)	長方形の一辺を軸にして回転させたときの回転体を答える	B	H27	87.8	88.0	0.2
7(2)	円柱の体積を求める	B	H27	52.8	54.6	1.8
8(1)	点(-3, 2)を、座標平面上に示す	C	H26	79.9	80.3	0.4
8(2)	比例の関係から、5に対応するyの値を求める	C	H23	81.7	84.1	2.4
9	示された事象の中から、反比例の事象を選ぶ	C	H23	42.0	43.8	1.8
10(1)	2つの数量の関係を表す表からグラフ上の座標を判断する	C	H27	90.0	93.5	3.5
10(2)	日常的な事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉えられるようにし、数学的な表現を用いて説明する	C	H27	18.8	30.3	11.5
11(1)	ヒストグラムから与えられた条件を満たす階級の度数の合計を求める	D	H26	70.0	74.9	4.9
11(2)	ヒストグラムから最も度数の大きい階級の階級値を読み取る	D	H26	18.5	42.0	23.5
11(3)	相対度数の意味を理解し、ヒストグラムから相対度数を求める	D	H26	21.5	35.0	13.5
11(4)	2つのヒストグラムを比較し、正しい情報を適切に選ぶ	D	H26	65.2	70.1	4.9

<領域> A: 数と式 B: 図形 C: 関数 D: 資料の活用

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

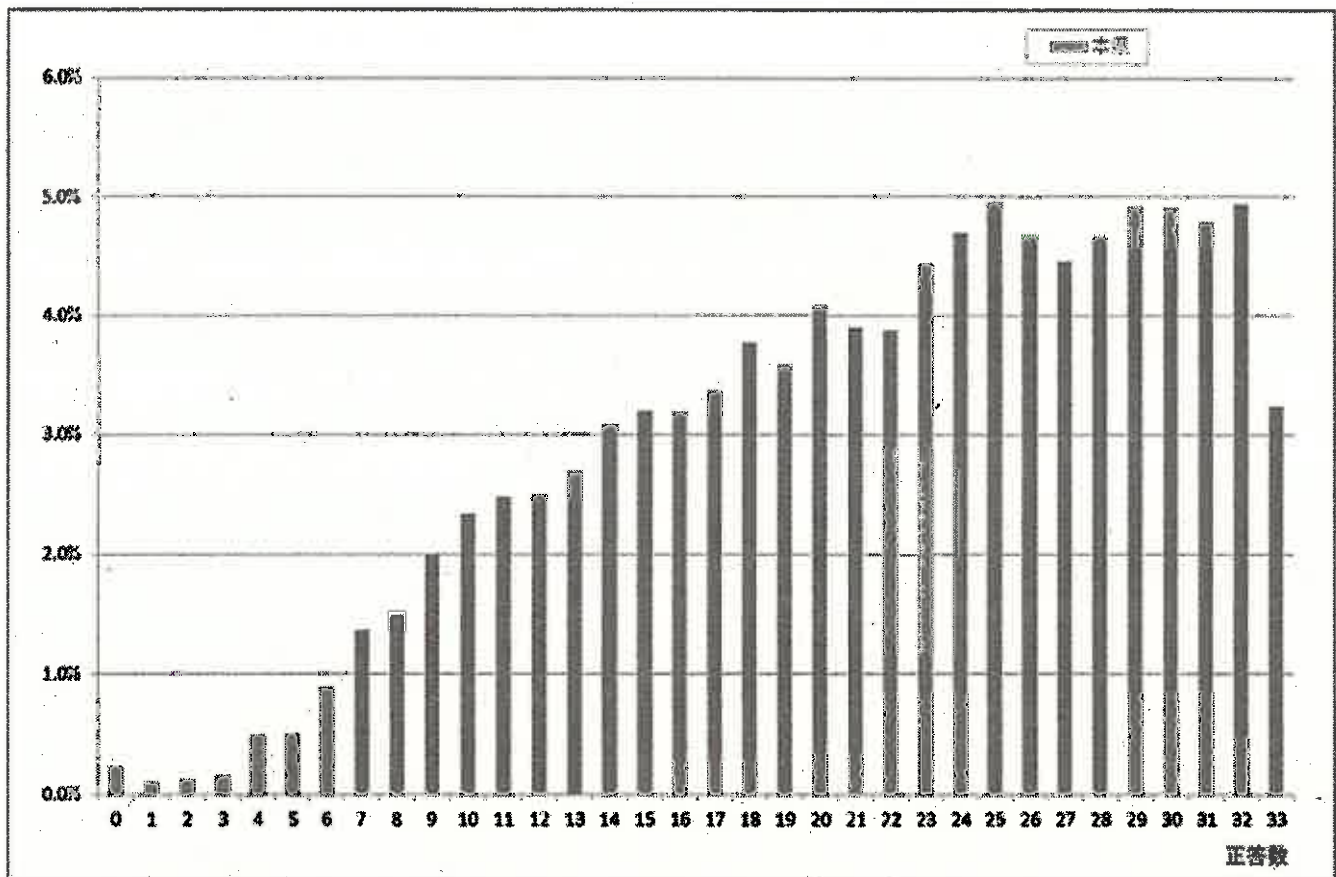
- 2つの数量の関係を表す表からグラフ上の座標を判断することや角の二等分線の作図の手順を答えることについては、正答率が高く、表やグラフから必要な情報を読み取ることや基本的な作図の方法が身に付いている。
- ヒストグラムから最も度数の大きい階級の階級値を読み取ることや、相対度数の意味を理解し、ヒストグラムから相対度数を求めることに改善の傾向が見られる。
- 式の値を求めることに課題が見られる。
 - ⇒式がどのような数量を表しているのかを読み取り、その意味に基づいて式の値を求めることができるように指導することが引き続き大切である。数を文字式に誤って代入している例を取り上げ、得られた値を比較して、計算の仕方を確認し合う活動を取り入れることが考えられる。
- 日常的な事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。
 - ⇒日常的な事象を理想化・単純化して、その特徴を的確に捉え、数学的な表現を用いて説明する活動を取り入れることが大切である。方法の説明では、「用いるもの」とその「使い方」を明記して表現できるように指導することも大切である。

調査結果概況

対象生徒数	平均正答数/設問数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
6811人	21.6/33	65.5	23	7.57

分類	区分	対象設問数	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	読むこと	4	59.7
	書くこと	2	51.6
	言語材料	28	65.9
評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度		
	外国語表現の能力	2	51.6
	外国語理解の能力	3	71.5
	言語や文化への知識・理解	28	65.9
問題形式	選択式	20	71.7
	短答式	8	58.2
	記述式	5	52.8

【正答数分布グラフ】(横軸：正答数, 縦軸：割合)



【過去調査と比較した正答率の差】※差は、H29 調査正答率から過去調査正答率をひいたもの

上位5題

	設問番号	言語材料の種類	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	4-(2)	言語材料	知識理解	選択	疑問詞 (How many) を選ぶ。	92.1%	75.8% (H26)	+16.3
2	2-(6)	言語材料	知識理解	選択	一般動詞 (comes) を選ぶ。	64.6%	51.0% (H24)	+13.6
3	1-(2)	言語材料	知識理解	短答	クエスチョンマークを、正しい場所に正確に書く。	51.9%	38.5% (H26)	+13.4
4	10-(3)	言語材料	知識理解	記述	英語を並び替える。(What~?の疑問文)	37.2%	27.0% (H25)	+10.2
5	11	書くこと	表現	記述	英文を書く。(自己紹介)	79.0%	69.2% (H25)	+9.8

下位5題

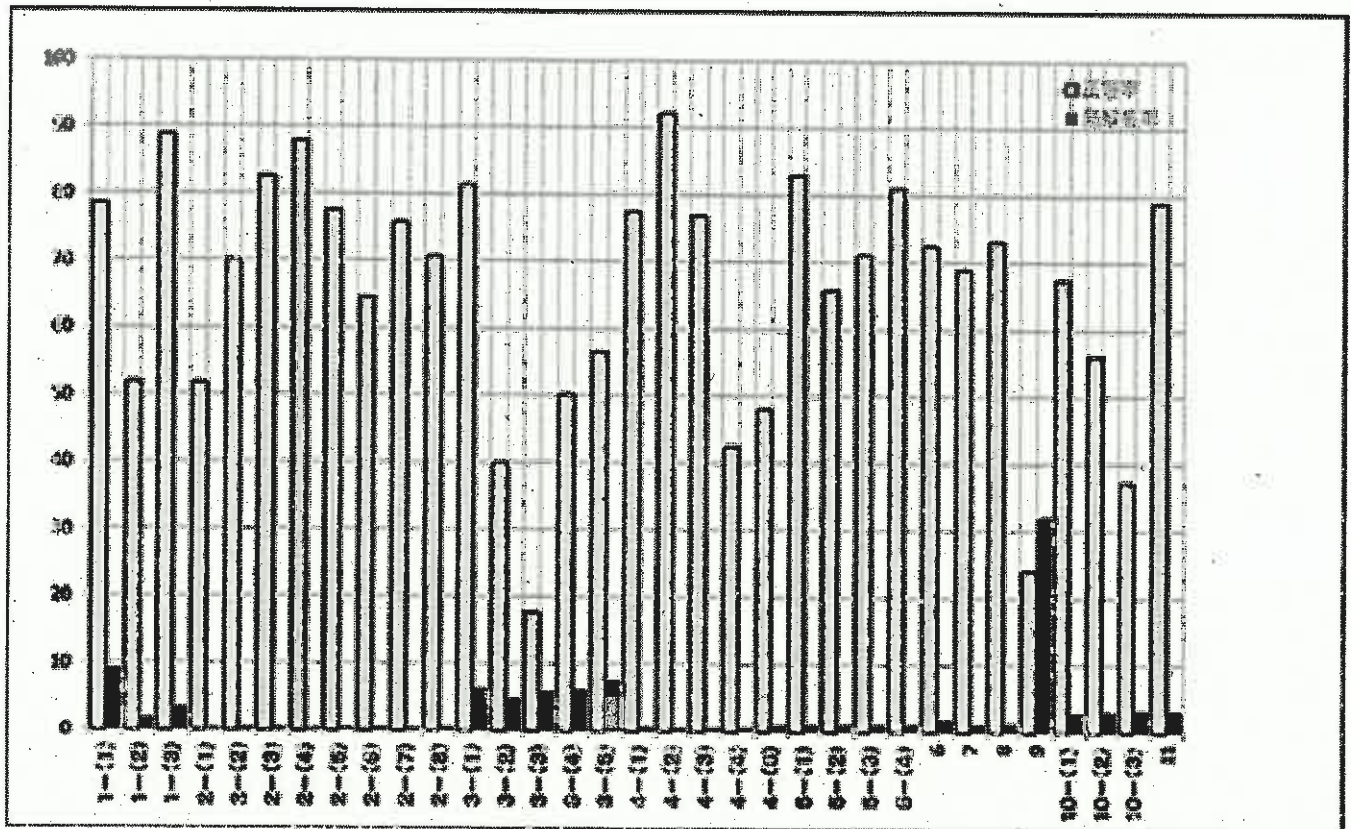
	設問番号	言語材料の種類	評価の観点	問題形式	設問の概要	H29正答率 (%)	過去正答率 (%) (調査年度)	差 (ポイント)
1	10-(1)	言語材料	知識理解	記述	英語を並び替える (SVC)。	67.5%	78.6% (H26)	-11.1
2	4-(5)	言語材料	知識理解	選択	代名詞 (目的格) を選ぶ。	48.1%	57.3% (H26)	-9.2
3	3-(2)	言語材料	知識理解	短答	一般動詞 (studying) を正しく書く。	40.0%	47.3% (H24)	-7.3
4	2-(1)	言語材料	知識理解	選択	文にふさわしい語を選択する。 (主語が複数に対する be 動詞)	51.8%	58.7% (H24)	-6.9
5	2-(5)	言語材料	知識理解	選択	文にふさわしい語を選択する。 (現在進行形)	77.5%	81.5% (H25)	-4.0

【設問ごとの正答率・過去調査との比較】

設問 番号	設問の概要	領 域	過去調査		H29調査	
			年度	県正答率 (%)	県正答率 (%)	H29-過去 (ポイント)
1-(1)	符号を書く (アポストロ フィー)	言語	H26	77.8	78.5	0.7
1-(2)	符号を書く (クエスチョン マーク)	言語		38.5	51.9	13.4
1-(3)	符号を書く (カンマ)	言語		87.2	88.9	1.7
2-(1)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	58.7	51.8	-6.9
2-(2)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	66.6	70.2	3.6
2-(3)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	80.9	82.6	1.7
2-(4)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	85.1	87.9	2.8
2-(5)	文にふさわしい語を選択する	言語	H25	81.5	77.5	-4
2-(6)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	51.0	64.6	13.6
2-(7)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	74.1	75.7	1.6
2-(8)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	65.7	70.7	5
3-(1)	文にふさわしい動詞を書く (be動詞)	言語	H26	83.9	81.4	-2.5
3-(2)	文にふさわしい動詞を書く (一般動詞)	言語	H24	47.3	40.0	-7.3
3-(3)	文にふさわしい動詞を書く (一般動詞)	言語	H24	9.2	17.8	8.6
3-(4)	文にふさわしい動詞を書く (一般動詞)	言語	H26	48.3	50.2	1.9
3-(5)	文にふさわしい動詞を書く (一般動詞)	言語	H26	50.7	56.6	5.9
4-(1)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	74.7	77.4	2.7
4-(2)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	75.8	92.1	16.3
4-(3)	文にふさわしい語を選択する	言語	H25	79.9	76.9	-3
4-(4)	文にふさわしい語を選択する	言語	H24	42.8	42.5	-0.3
4-(5)	文にふさわしい語を選択する	言語	H26	57.3	48.1	-9.2
5-(1)	会話の流れにふさわしい文を選 択する	言語	H24	77.7	83.0	5.3
5-(2)	会話の流れにふさわしい文を選 択する	言語	H26	59.2	65.8	6.6
5-(3)	会話の流れにふさわしい文を選 択する	言語	H26	70.9	71.1	0.2
5-(4)	会話の流れにふさわしい文を選 択する	言語	H25	80.7	81.1	0.4
6	英文の内容に合う曜日を選択す る	ウ	H26	69.4	72.5	3.1
7	英文の流れに合う文を選択す る	ウ	H25	67.3	68.9	1.6
8	英文の内容に合う文を選択する	ウ	H26	69.1	73.2	4.1
9	英文を書く	ウ・エ	H25	16.4	24.2	7.8
10-(1)	英語を並べ替える(SVC)	言語	H26	78.6	67.5	-11.1
10-(2)	英語を並べ替える(一般動詞の 命令文)	言語	H24	48.4	56.1	7.7
10-(3)	英語を並べ替える(一般動詞の 疑問文)	言語	H25	27.0	37.2	10.2
11	英文を書く	エ	H25	69.2	79.0	9.8

<領域>ア:聞くこと イ:話すこと ウ:読むこと エ:書くこと 言語:言語材料

【設問別正答率・無解答率グラフ】（横軸：設問番号，縦軸：割合）



【各教科の分析・考察】

- 「言語材料」の領域において，小学校外国語活動で十分に慣れ親しんだ表現については，正答率が上昇し改善の傾向が見られる。
- 「書くこと」の領域において，自己紹介を書くことについては，正答率が上昇し，さらに無解答率が下降していることにより，改善の傾向が見られる。
- 正しい語順で文を構成することに課題が見られる。
 - ⇒日本語と英語では，語順が違うことに気付かせるとともに，文法については，言語活動と関連付けて指導する。その際には，言語材料の知識や理解を深める言語活動と実際に自分の気持ちや考えを伝える言語活動とをバランスよく配置し，活動を通して定着を図ることが大切である。
- 読み取った内容に関連して書くなど，技能を統合することに課題が見られる。
 - ⇒聞いたことについて話したり書いたりすることや，読んだことについて話したり書いたりすることが実際のコミュニケーションにおいては行われている。授業においても，理解した教科書の内容に対して，話したり書いたりする言語活動を仕組むなど，技能を統合した活動を行うことが大切である。

